

平成24年度事業報告（案）

1. 総括

この一年間、理事や委員の皆様、そして支部の役員の方々、そして1,200余名の会員の皆様からご支援ご協力を頂きながら、診療放射線学および診療放射線技師の地位向上に努めてまいりました。あらためて関係者にお礼そして感謝申し上げます。

平成24年度を振り返ってみると、東京スカイツリーが開業、世界各国で金環日食を観測、ロンドンオリンピックでの日本代表選手の大活躍、山中教授のノーベル賞受賞などの明るい話題もありましたが、一方で決められない政治が続く、経済においては欧州の経済不安、中国やインドなどの成長の鈍化、家電や車などの日本製品の販売不振、そして円高による不況感が長引きしました。しかし、ここ数ヶ月の経済的变化は著しく、今後に期待を持つことができる。中国や韓国との外交摩擦が頻繁に発生し、外交の舵取りが危惧されている中で、ロシアや中国、韓国、台湾と、近隣諸外国のリーダーが変わりました。米国も日本も変わりました。そして強いリーダーシップが求められているが、経済的な裏付けなしに政策を進められない難問だらけの現状があります。

医療においては、チーム医療をキーワードにシフトしてきており、我々も遠巻きに眺めているのでは出遅れてしまいます。チームの中に入り、患者中心の医療にどう対応するかという業務のせめぎ合いが始まっています。

新公益社団法人への移行は3月に認可を受けて、平成24年4月1日に登記し、公益社団法人に相応しい法人として一年間にわたってすり合わせをしてきましたが、まだまだ継続することが必要です。今後は、会員便益にも十分配慮しつつバランスの取れた会務運営を心掛けたいと思います。

学術活動は、地区の活動も加えて、本会のトータルな生涯教育という観点から見た学術活動が、活発に行われていると認識しています。加えて核医学や放射線治療、その他CTやMRIなどの研究会も本会の直接の傘下ではありませんが、十分な連携の下、協力関係にあると認識しています。埼玉放射線学術大会は、昨年同様に350余名の参加者を得て、成功裏に終了したことは、関係者および会員の皆さまに感謝します。この大会から若い技師が大きく羽ばたいていくことを期待します。

編集情報活動は、埼玉放射線を6回定期発刊しました。関係者に厚くお礼申し上げます。本会誌は日本診療放射線技師会のみならず、他の都道府県放射線技師会にも配布し高い評価を得ています。また国立国会図書館にも保管されているので、文献検索で抽出が可能となっています。ホームページは迅速な報告・連絡を主に、学術

セミナーの案内を掲載し、多方面からアクセスがあります。

公益活動は、地区と連携し、また埼玉県と連携したイベントに積極的に参加しました。今後は、公益社団法人として、線量管理の知識や技術を公益活動に活かすことが求められます。

財務活動は、1,200名の会費をお預かりして、診療放射線技師の職能団体として、また公益法人会計基準に基づいた会計を務めました。また日本診療放射線技師会との合算請求を行いました。

総務活動は、本会の活動を縁の下で支える業務です。常務理事の2人にて活動を先読みし、そして反省点を次回に生かしつつ活動しました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシュセミナーでは、参加者のうち入会者は約6割程度であり、会員入会促進事業として、さらなる入会率向上を目指していきたいと考えています。

役員研修会ではグループディスカッションを取り入れ、参加者から多くの意見が得られ有意義な討論が行われました。

ソフトボール大会は、これまで使用してきたグラウンドが閉鎖されたことにより中止となりました。

会員拡大事業については、日本診療放射線技師会に入会していない埼玉県会員に対し、日放技に入会していただけよう入会案内文を送付しました。この事業は今後継続していく必要があると考えています。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催していることが大切と考えています。また最新なことのみにではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては、10年以上前から読影に関してもセミナーを通じて教育のカリキュラムに取り込んで参りました。平成22年4月、厚生労働省医政局通知にもあったように診療放射線技師の読影ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関して、方向は整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、近年各種認定制度や専門技師制度が確立される中で、周囲の状況を踏まえ各セミナーおよび、講習会を開催して参りました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会を開催しました。胸部認定講習会に

においては、従来以上に、診療放射線技師の読影を主眼に置き、講義内容および、試験問題の改定をしました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会、日本放射線技師会生涯教育カリキュラムとの整合性を取り共催することにより、多くの会員の参加が得られました。また、内容に関しても充実し、実践的な教育をして参りました。MRIセミナー、乳腺セミナーは本年度より研究会とリンクして新たに開催しました。これらにおいても、より実践的な内容で多くの参加者が得られました。救急セミナーは本年度で4回目となり、救急救命士の方に講師を依頼するなど、新たな企画の下に行いました。今後は、更に相互にリンクしていくことが求められております。平成24年度の学術大会は大宮ソニックシティを会場とし、350名を超える多くの参加が得られました。開催におきましては、各地区や研究会から多大なご協力を得るとともに、理事、委員一丸となって準備した結果、演題数も過去最高の61演題を数え、盛会に終了することができました。埼玉県診療放射線技師会を通じて、県内の診療放射線技師の意識が年々高まっていると感じました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.60No.3・4・5・6、Vol.61No.1・2計6号を発刊しました。編集・情報活動は本会活動の中でも、重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」については、昨年度に公益社団法人移行に向け、本冊と別冊に分冊しました。本年度は会員の利便性を追求することを目的とし、全てを1冊にまとめるスタイルへ戻しました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また会誌と同様に、県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を、専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、定期的に会員向けメルマガジンの発信を行いました。Webサイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段であり、今後も各講習会やイベントなどの広報に力を入れていきたいと考えます。

4) 公益

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」の増進に寄与することを目的とすることで、県民の皆様との窓口になれる事業と考えます。

まず医療画像展では、パネルを使用し放射線を使用した検査や治療などの説明やパンフレットの配布、そして超音波式骨密度の無料測定を行いました。

県民公開講座では、支部会や学術大会において、健康や放射線の安全について分かりやすい内容でおこない、一般の方からも公開講座の依頼がきました。

被ばく相談では、各支部での開催や学術大会、ホームページ、公益委員会で県内を回り相談に対応しています。

またこれら以外でも、埼玉県主催の公益イベントにも参加し活動しました。これからも県民や会員の皆様と公益性を高めていきたいと思ひます。

5) 財務

財務活動は、平成24年度予算書を損益ベース様式に変更し、新公益法人会計基準に沿って各事業別に会計処理を行うことで事業別の収支がより分かりやすくなりました。

2. 事業遂行評価

2. 1. 職業人としての質の向上

- | | |
|----------------------------|---|
| 1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催 | ○ |
| ・埼玉放射線学術大会 | ○ |
| ・胸部撮影認定講習会 | ○ |
| ・上部消化管検査認定講習会 | ○ |
| ・フレッシューズセミナー（SARTセミナー） | ○ |
| ・放射線技術部門マネジメント・セミナー | △ |
| （医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成） | |
| ・CT検査認定講習会 | ○ |
| ・MRI基礎講習会 | ○ |
| ・救急セミナー | ○ |
| （日本救急撮影技師認定機構との共催） | |
| ・読影力向上講習会（地区開催セミナー） | ○ |
| ・放射線工業界との合同開催企画 | × |
| 2) 会員講師の育成と体制づくり | △ |
| 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進 | ○ |
| ・関東甲信越放射線技師学術大会への協力 | ○ |
| ・埼玉県医師会主催事業への支援 | ○ |
| ・埼玉臨床画像研究会 | ○ |
| ・日本放射線技術学会関東部会との合同企画 | ○ |
| ・日本診療放射線技師会との合同開催企画 | ◎ |
| ・各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） | ○ |
| 4) アドバイザー（技術・業務支援）の創設・育成 | × |
| 5) 研修病院紹介などの体制づくり | × |
| 6) 医療被ばく線量の適正化 | △ |

2. 2. 組織運営に関わる事業

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1) 行政との連携・埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換 | ○ |
| 2) 会員情報の適正管理 | ○ |
| 3) 公益社団法人化への対応 | ○ |

2. 3. 公益目的事業

- | | |
|------------|--|
| 1) 学術情報の提供 | |
|------------|--|

- 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
2) 市民公開講座の開催
3) 地域自治体主催事業への参画
4) 医療画像展の開催と支援
5) 市民向けホームページの充実
6) 医療被ばく相談の迅速な対応

○
○
○
○
△
○

2. 4. 情報

- 1) 診療放射線技師向けホームページの充実
2) メールマガジンの有効利用
3) 学術資料などのデータベース化

○
○
○

2. 5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続
2) 新公益法人会計基準での会計処理の継続

○
○

2. 6. その他

- 1) 役員外の会員登用による
プロジェクトチームの創設
2) 中長期計画の策定
3) 医療技術関係団体との連携
4) 技師会センター長期修繕計画の立案
5) 日本放射線技師会主催講習会への協力
6) ソフトボール大会

×
×
○
△
◎
×

平成 24 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 24 年度役員は次のとおりである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	小川 清	
副 会 長	堀江 好一	
同	橋本 里見	
監 事	山本 英明	
同	鈴木 正人	
顧 問	和田 幸人	
常 務 理 事	田中 宏	総 務
同	芦葉 弘志	総 務
同	潮田 陽一	編 集・情 報
同	結城 朋子	財 務
同	富田 博信	学 術
同	中村 正之	公 益
理 事	双木 邦博	総 務・第一地区
同	大西 圭一	総 務・第二地区
同	庭田 清隆	総 務・第三地区
同	山田 伸司	総 務・第四地区

同	矢崎 一郎	総 務・第五地区
同	石川 直哉	総 務・第六地区
同	栗田 幸喜	学 術
同	今出 克利	学 術
同	佐々木 健	学 術
同	八木沢英樹	編 集・情 報
同	星野 弘	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

平成 23 年度第 1 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 24 年 5 月 26 日(土)、埼玉会館 7B 会議室において会員 60 名出席、委任状提出 630 名、合計 690 名にて開催しました。総会では平成 23 年度事業報告案、決算報告案、平成 23 年度監査報告、定款変更、について審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 8 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	24. 04. 04	技師会事務所
2	24. 05. 02	同
3	24. 06. 06	同
4	24. 08. 01	同
5	24. 10. 03	同
6	24. 12. 05	同
7	25. 02. 06	同
8	25. 03. 13	同

ウ. 常務理事会は下記の通り 4 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	24. 07. 04	技師会事務所
2	24. 09. 05	同
3	24. 11. 07	同
4	25. 01. 09	同

エ. その他

役員研修会、連絡会議、予算会議ならびに公益法人改革検討会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	24. 11. 22	大宮ソニックシティ

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	24. 04. 25	技師会事務所
2	24. 05. 30	同
3	24. 07. 25	同
4	24. 09. 26	同
5	24. 11. 27	同
6	25. 01. 25	同
7	25. 03. 27	同

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	25. 1. 9	技師会事務所

北関東地域会長会議

1	24. 07. 14	大宮ソニックシティ会議室
2	24. 10. 05	栃木県文化センター会議室
3	25. 02. 11	大宮パイオランドホテル

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表のとおりです。

委 員 会 名	開 催 年 月 日
総 務・財 務 委 員 会	25. 01. 30
総 会 運 営 委 員 会	25. 05. 25
編 集・情 報 委 員 会	24. 04. 10
	24. 06. 12
	24. 08. 07
	24. 10. 09
	24. 12. 11
	25. 02. 12
学 術 委 員 会	24. 05. 09
	24. 07. 17
	24. 08. 28
	24. 10. 10
	24. 12. 10
	25. 01. 23
公 益 委 員 会	24. 06. 20
	24. 07. 26

	24. 09. 06
	24. 10. 25
	25. 01. 17

表彰委員会

	年 月 日	開 催 場 所
1	24. 05. 14	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役 職 名	氏 名
委員長	小島 精一
委 員	小川 清 細野 英雄
同	渡辺 弘 磯田 一巳
同	堀江 好一 橋本 里見
同	田中 宏 芦葉 弘志

イ. 医療画像展実行委員会（秩父会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	関根 茂夫
副実行委員長	山田 伸司
実 行 委 員	小林 茂幸 萩原 貴之
同	清水 浩和 大野 渉
同	長谷川英治 小柳 洋二
同	玉川 敏 山中 隆二
同	吉田 真一 近藤 和彦
同	浅見 肇 中村 誠
同	旭 拓也 引間 択郎
同	勅使河原真由美

ウ. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	小林 茂幸
副実行委員長	山田 伸司
実 行 委 員	関根 茂夫 萩本 孝
同	長谷川英治 大野 渉
同	清水 浩和 白石 広子
同	萩原 貴之 高橋 強悦
同	高井 太市 坂本 里紗
同	坂上 敦

エ. 医療画像展実行委員会（浦和会場）

役 職 名	氏 名	
実行委員長	双木 邦博	
副実行委員長	宮澤 浩治	林 伸幸
実行委員	小林 靖雄	田村 智將
同	富田 雅	曾根 達也
同	坂井 譲二	八木沢英樹
同	榎本 克希	佐藤 吉海
同	神山 和明	武田 拓也
同	池田 一樹	土田 拓治

オ. 医療画像展実行委員会（川越会場）

役 職 名	氏 名	
実行委員長	庭田 清隆	
実行委員	石脇 花織	磯野麻衣子
同	梅沢 達也	杉村 和紀
同	鈴木 英之	長谷川彩香
同	馬場 美和	

カ. 医療画像展実行委員会（所沢会場）

役 職 名	氏 名	
実行委員長	大西 圭一	
実行委員	梶野 恒三	安保 靖彦
同	千田 俊秀	中邑 友香
同	児玉 麗美	古寺 史一
同	藤井 大悟	本郷 久利
同	中村 雄幸	前田 有弘
同	松本 諭一	吉澤 康宏

キ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役 職 名	氏 名	
実行委員長	矢崎 一郎	
実行委員	中村 正之	鈴木 孝
同	栗田 幸喜	金子 初穂
同	中嶋 幸孝	西山 史朗
同	市橋 勇気	渡辺 城大

ク. 編集・情報委員会

役 職 名	氏 名	
委員長	潮田 陽一	
副委員長	八木沢英樹	
委員	栗田 幸喜	川田 俊彦
同	白石 圭	栗田 裕樹
同	肥沼 武司	坂田裕実子
同	清水 邦昭	菅野 方仁
同	宮崎 雄二	荻野 孝

ケ. 学術委員会

役 職 名	氏 名	
委員長	富田 博信	
副委員長	栗田 幸喜	今出 克利
副委員長	佐々木 健	
委員	尾形 智幸	大森 正司
同	横山 寛	越沼 沙織
同	平野 雅弥	岡田 智子
同	中根 淳	城處 洋輔

コ. ソフトボール大会実行委員会（中止）

役 職 名	氏 名	
大会長	堀江 好一	
実行委員	田中 宏	田中 達也
同	橋本 里見	芦葉 弘志
同	結城 朋子	双木 邦博
同	大西 圭一	庭田 清隆
同	矢崎 一郎	石川 直哉
同	矢部 智	山田 伸司
同	岡田 義和	千田 俊秀

サ. 公益委員会

役 職 名	氏 名	
委員長	中村 正之	
副委員長	星野 弘	
同	芦葉 弘志	工藤 安幸
同	志田 智樹	志藤 正和
同	澁市 直紀	長谷部和仁

シ. 総務・財務委員会

役 職 名	氏 名	
委員長	田中 宏	
副委員長	芦葉 弘志	結城 朋子
委員	堀江 好一	橋本 里見
同	双木 邦博	大西 圭一
同	庭田 清隆	山田 伸司
同	矢崎 一郎	石川 直哉
同	田中 達也	岡田 義和
同	千田 俊秀	矢部 智

ス. 総会運営委員会 (第1回)

役 職 名	氏 名
委 員 長	仙波 亮
委 員	小林 靖雄 藤井 大悟
同	鈴木 英之 大野 渉
同	西山 史朗

セ. 総会実行委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	堀江 好一
副 委 員 長	田中 宏
委 員	橋本 里見 芦葉 弘志
同	潮田 陽一 結城 朋子
同	中村 正之 富田 博信

ソ. 選挙管理委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	大嶋 健吾
委 員	阿野 匡昭 柴 俊幸
同	栗田 恭介 尾川 光弘
同	榎本 雅彦

タ. 第28回埼玉放射線学術大会実行委員会

役 職 名	氏 名
大 会 長	堀江 好一
実 行 委 員 長	富田 博信
副実行委員長	橋本 里見
委 員	田中 宏 結城 朋子
同	八木沢英樹 渋谷 直紀
同	矢崎 一郎 石川 直哉
同	田中 達也 平野 雅弥
同	尾形 智幸 越沼 沙織
同	岡田 智子 中根 淳
同	城處 洋輔 大森 正司
同	佐々木 健 潮田 陽一
同	肥沼 武司 栗田 幸喜
同	中村 正之 工藤 安幸
同	芦葉 弘志 庭田 清隆
同	横山 寛 双木 邦博
同	大西 圭一 山田 伸司
同	今出 克利 清水 邦昭

同	宮崎 雄二 荻野 孝
同	星野 弘 長谷部和仁
同	志田 智樹 菅野 方仁
同	栗田 裕樹 渡邊 城大
同	樟山孔太郎 長谷川彩香
同	山口 春果 菅原 香里
同	小川真理子

(5) 表 彰

瑞宝双光章 (敬称略)

渡辺 弘

厚生労働大臣表彰 (敬称略)

小酒井 安二

埼玉県知事表彰 (敬称略)

橋本 里見

公衆衛生事業功労者知事表彰 (2名 敬称略)

清水 文孝、宮野 良介

公衆衛生事業功労者 (財) 日本公衆衛生協会表彰 (敬称略)

石栗 一男

日本診療放射線技師会

永年 30 年勤続者表彰 (17 名、敬称略)

小林 教浩、増渕 雅彦、小沢 利行、古閑 健次、

保泉 賢司、山崎 富雄、工藤 安幸、富樫 義雄、

港 政治、鈴木 操、吉村 保幸、中野 寿夫、

山中 隆二、板橋 修一、小林 光雄、尾形 智幸、

馬場 和義

埼玉県診療放射線技師会表彰

永年 40 年勤続者表彰 (2 名、敬称略)

齊藤 勝則、塚越 昇

永年 20 年勤続者表彰 (13 名、敬称略)

芦葉 弘志、小島 英之、阿久津和彦、櫻井 朋幸、

秋山 洋三、富田 博信、田中 豊、藤田 功、

田中 宏、山崎三三男、田中 隆夫、福田 光康、

松尾 直人

(6) 物故者

なし

(7) 会員の動向 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

項 目	会 員 数
平成 23 年度末 会員数	1,189 名
平成 24 年度 新入会者数	80 名
同 再入会者数	5 名
同 転入者数	6 名
同 転出者数	11 名
同 退会者数	82 名
平成 24 年度末 会員数	1,187 名

(8) 平成 24 年度賛助会員 24 社 (順不同)

シーメンス・ジャパン株式会社
 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 株式会社三田屋製作所
 株式会社日立メディコ
 株式会社メディカル・サービス T&K
 コニカミノルタヘルスケア株式会社
 第一三共株式会社
 ケアストリームヘルス株式会社
 株式会社カイゲン
 富士フイルムメディカル株式会社
 株式会社鯨屋
 日本メジフィジックス株式会社
 エーザイ株式会社
 東洋メディック株式会社
 日本メドラッド株式会社
 株式会社ケーアイシーメディカルシステム
 コヴィディエンジャパン株式会社
 バイエル薬品株式会社
 富士フイルム RI ファーマ株式会社
 日本放射線防衛株式会社
 株式会社ドクターネット
 キャノンライフケアソリューションズ株式会社
 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメ
 ディカルシステムズ

2. 学術教育活動

(1) 第 11 回胸部認定講習会

講 師：佐々木 健、高濱 公大、横山 寛、
 染野 智弘、田中 宏
 開 催 日：平成 24 年 12 月 2 日 (日)
 場 所：上尾中央総合病院
 参 加 者：52 名 (非会員 8 名)

(2) 第 12 回上部消化管検査認定講習会

講 師：馬場 保昌、大倉 康男、今出 克利、
 工藤 安幸、志田 智樹、工藤 泰、
 大森 正司
 開 催 日：平成 24 年 12 月 9 日 (日)
 平成 25 年 1 月 20 日 (日)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：20 名 (12 月 9 日)
 35 名 (1 月 20 日)

(3) 第 4 回 CT 認定講習会

講 師：富田 博信、田中 功、双木 邦博、
 八木沢英樹、染野 智弘、小澤 昌則、
 中根 淳、志藤 正和、城處 洋輔
 開 催 日：平成 24 年 10 月 27 日 (土)、10 月 28 日 (日)
 場 所：済生会川口総合病院
 参 加 者：21 名 (10 月 27 日)
 47 名 (10 月 28 日)

(4) 第 4 回救急セミナー

講 師：山内 一
 開 催 日：平成 25 年 3 月 16 日 (土)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：14 名 (非会員 3 名)

(5) 平成 24 年度胸部・上部消化管・CT 検査認定試験

開 催 日：平成 25 年 2 月 24 日 (日)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：胸部 46 名、上部消化管 9 名、CT 3 名

(6) 平成 24 年度胸部認定者

指導員：曾根 達也、佐々木 健
 準指導員：萩原 貴之、藤巻 武義、亀山 枝里、
 小川 真理子、土岐 義一、岡村 聡志、
 吉野 和広、滝口 泰徳、金野 元樹、
 橋本 利恵子、渡邊 城大、森 一也、
 島方 恵利、清水 理乃、村本 圭祐、
 神山 和明、染野 智弘、大野 渉、
 北谷 裕介、岩本 雄治、八木里枝子、
 勅使河原真由美、中山 勝雅、藤井 紀明

(7) 平成 24 年度上部消化管検査認定者

指導員：該当者なし
 準指導員：石川 剛浩、河田 勝政

(8) 平成 24 年度 CT 認定者

指導員：該当者なし
 準指導員：山村 慎二、芦葉 弘志

(9) 診療放射線技師基礎講習 MRI 検査

講 師：宿谷 俊郎、渡邊 城大、浜野 洋平
 開 催 日：平成 24 年 11 月 18 日 (日)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：30 名 (非会員 3 名)

(10) 乳腺セミナー

講 師：石栗 一男、五十嵐隆元
 開 催 日：平成 25 年 2 月 3 日 (日)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：32 名

(11) 第 1 回 Freed セミナー

講師：佐々木 健

開催日：平成 25 年 3 月 23 日（土）

場所：上尾中央総合病院

参加者：18 名（非会員 7 名）

(12) 第 28 回埼玉放射線学術大会

開催日：平成 25 年 3 月 3 日（日）

場所：大宮ソニックシティ

参加者：354 名

会員 245 名、非会員 15 名、学生 17 名

賛助会員 77 名

読影コーナー参加者：胸部単純 16 名、乳腺 10 名、

CT 11 名、MRI 11 名、

消化管 12 名、超音波 2 名

機器展示参加メーカー：22 社

3. 編集・情報活動報告

(1) 編集活動報告

平成 24 年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」の発行を、第 60 巻第 225 号から第 61 巻第 230 号まで、計 6 回発刊いたしました。特に、第 60 巻第 227 号には学術特集「消化管検査における読影補助への取り組み」、特集「診療放射線技師による一次読影について」「演題発表抄録および発表後抄録の書き方」、第 60 巻 228 号には学術特集「最新 CT 特集」、第 61 巻第 229 号には学術寄稿「Discovery CT750HD の使用経験」、第 61 巻 230 号には「最近の放射線治療」、寄稿「Aquilion ONE 使用経験」、寄稿「放射線取扱主任者の活動についての報告と考察」を収載し、多くの方から内容について好評をいただきました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向け HP」

1) 学術案内（68 件）

2) 巻頭言（6 件）

3) お知らせ（22 件）

4) 報告（3 件）

イ「一般向け HP」

1) SART が「社団法人」から「公益社団法人」に変更

「埼玉県放射線技師会」から「埼玉県診療放射線技師会」に変更になりました

2) リンク「ディスクロージャー」23 年度版掲載

3) 「会誌・バックナンバー」掲載

4) 「平成 24 年度 深谷市福祉健康まつり」開催のご案内

5) 「平成 24 年度 川越健康まつり」開催のご案内

6) 「県民公開講座」開催のご案内（PDF）

ウ「メールマガジン配信」

1) 6 件 no.54 まで

4. 新春の集い

開催日時：平成 25 年 1 月 11 日（金）

19:00～21:00

会場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」

参加者：会員 45 名、企業関係者 46 名、新入会員 22 名

合計 113 名

5. 役員・委員研修会

開催日：平成 24 年 11 月 22 日（木）

場所：大宮ソニックシティ

参加者：15 名

6. 福利厚生

(1) 第 35 回ソフトボール大会

開催日：平成 24 年 11 月 4 日（日）

場所：東京石油保険組合東松山グラウンド

閉鎖により中止

7. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

8. 公益活動

(1) 平成 24 年度医療画像展（秩父会場）

開催日：平成 24 年 6 月 3 日（日）

場所：秩父市保健センター

(2) リレーフォーライフ川越

開催日：平成 24 年 9 月 15 日（土）～16 日（日）

場所：川越水上公園

(3) 平成 24 年度医療画像展（越谷会場）

開催日：平成 24 年 10 月 21 日（日）

場所：越谷市役所庁舎 1 階

(4) 平成 24 年度医療画像展（深谷会場）

開催日：平成 24 年 10 月 28 日（日）

場所：深谷市総合体育館

(5) 平成 24 年度医療画像展（浦和会場）

- 開催日：平成24年11月3日（土）
場 所：浦和コミュニティセンター
- （6）平成24年度医療画像展（川越会場）
開催日：平成24年11月4日（日）
場 所：川越市総合保険センター
- （7）彩の国いきいきフェスティバル 骨密度測定
開催日：平成24年11月4日（日）
場 所：埼玉県民活動総合センター
- （8）平成24年度医療画像展（所沢会場）
開催日：平成24年11月11日（日）
場 所：所沢市保険センター
- （9）第28回埼玉放射線学術大会 県民公開講座
開催日：平成25年3月3日（日）
場 所：大宮ソニックシティ
- （10）被ばく相談
各支部医療画像展にて開催
ホームページにて2件
第28回埼玉放射線学術大会 県民公開講座にて

9. 地区報告

第一支部

地区理事	双木 邦博	
監事	宮澤 浩治	林 伸幸
役員	八木沢英樹	小林 靖雄
	三橋 則行	佐藤 吉海
	土田 拓治	梶 功治
	棹山孔太郎	小玉 賢治
	守田わかな	小笠原洋介
	柴崎沙也可	関 幹枝
	鎌田 靖男	田村 智将
	大塚 忠義	

- （1）第1回 支部勉強会
開催日時：平成24年5月30日（水）19：00～
場 所：コムナーレ浦和
参加者：55名
内 容：
①公益社団法人移行に関する説明
埼玉県診療放射線技師会 副会長 堀江 好一
②「磁場強度の違いを臨床画像に活かそう！」
～1.5T vs 3.0T～
さいたま市立病院 三橋 則行
③「医療被ばくと被ばく低減施設取得への取り組み」
済生会川口総合病院 志藤 正和

- （機器展示）
AMIN 株式会社、コニカミノルタヘルスケア株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
富士フィルムメディカル株式会社
- （2）第2回 支部勉強会
開催日時：平成24年8月29日（水）19：00～
場 所：済生会川口総合病院
参加者：49名
内 容：
①最新CTテクノロジー
シーメンス・ジャパン
②最新CTの臨床画像
～Definition Flash 128列×2管球～
済生会川口総合病院 富田 博信
③最新CT装置 見学会
- （3）第1回支部合同勉強会
～Collaboration Summit 2012～
開催日時：平成24年9月9日（日）
13：30～17：00
場 所：大宮法科大学院大学 2階講堂
参加者：123名
- （4）第2回 支部役員会
開催日時：平成24年9月14日（金）19：00～
場 所：埼玉社会保険病院
参加者：10名
- （5）浦和区健康まつり 事前打ち合わせ
開催日時：平成24年10月4日（木）
14：00～16：00
場 所：コムナーレ浦和
- （6）浦和区健康まつり
開催日時：平成24年11月3日（土）
10：00～16：00
場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：無料の超音波式骨密度測定、放射線検査の啓発・説明
測定人数：320名
来場者：約3,000人
- （7）第3回 支部勉強会
開催日時：平成24年12月13日（木）
18：50～20：30
場 所：コムナーレ浦和
参加者：60名
内 容：

①放射線科での診療報酬改訂の解釈

第一三共株式会社 手塚 一明

②楽しくなる胃 X 線撮影

済生会川口総合病院 池田 圭介

③冠動脈 MRA 検査の実際

三愛病院 大塚 忠義

(8) 支部忘年会

開催日時：平成 24 年 12 月 13 日 (木) 20:50 ~

場 所：Bon Tigger ボン・ティガー

参 加 者：28 名

(9) 第 3 回 支部勉強会

開催日時：平成 25 年 1 月 21 日 (月) 19:00 ~

場 所：埼玉社会保険病院

参 加 者：8 名

(10) 支部総会

開催日時：平成 25 年 2 月 28 日 (木) 18:50 ~

場 所：コムナーレ浦和

参 加 者：39 名

(11) 第 4 回 支部勉強会

開催日時：平成 25 年 2 月 28 日 (木)

19:00 ~ 21:00

場 所：コムナーレ浦和

参 加 者：39 名

内 容：

①骨密度測定と骨粗鬆症の基礎

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 川島 康之

②条件付 MRI 対応ペーシングシステム

日本メドトロニック株式会社 笹岡 紘如

③条件付 MRI 対応ペーシングシステムの MRI 症例報告

三愛病院 大塚 忠義

④ PHILIPS CT のご紹介と RSNA2012 報告

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン 菅原 崇

第二支部

会 長 (地区理事) 大西 圭一

副会長・会計 柴 俊幸

監 事 園部 明彦

役 員 千田 俊秀 中邑 友香

鈴木 蔵九 肥沼 武司

山下 隆行 山岸 洋大

中村 雄幸 近藤 高生

瀧澤 誠 大畑 克己

藤井 大悟 佐藤 秋生

(1) 第 1 回勉強会

日 時：平成 24 年 4 月 19 日 (木) 18:30 ~

場 所：所沢市保健センター

参加者：75 名

内 容：

①製品紹介

「超電導 Open Bore MRI 1.5T & 3T の最新情報」

東芝メディカルシステムズ (株) 関東支社 MR 鈴木 道貴

②一般研究発表

「Full Filmless 運用 8 年の経験と今後」

和光病院 横島 義則

「2 地区役員施設での震災におけるアンケート調査」

原田病院 瀧澤 誠

「非造影 MRA での鎖骨下動脈の描出について」

東芝メディカルシステムズ (株) 関東支社 MR

アプリケーション 宮田 知子

③「当施設の胃 Ba 検査 ~検査風景を中心に~」

座長 工藤 年男 (春日部市立病院)

1) 佐藤 秋生 (石心会狭山病院)

2) 山下 隆行 (豊岡第一病院)

3) 宮野 博希 (入間市健康福祉センター)

(2) 第 2 回勉強会

日 時：平成 24 年 5 月 17 日 (木) 18:30 ~

場 所：所沢市保健センター

参加人数：58 名

内 容：

①製品紹介

「マンモグラフィ FPD ~ AMULET-f ~」

富士フイルムメディカル株式会社 MS 販売促進部 宮野 武晴

②一般研究発表

「MRI や X 線の応用の可能性について」

国立障害者リハビリテーションセンター

前野 正登

「日立 64 列 CT SCENARIA (シナリア) 使用報告」

間柴医院 中村 雄幸

「3D マンモグラフィ技術について」

富士フイルムメディカル株式会社 MS 販売促進部

宮野 武晴

③「CAS について」

座長 中古 安俊（公益社団法人 地域医療振興
協会東京ベイ・浦安市川医療センター）

1）石川 雄三（圏央所沢病院）

2）斎藤 雅志（順天堂大学医学部附属順天堂
医院）

（3）第 3 回勉強会

日 時：平成 24 年 6 月 21 日（木）18：30 ～

場 所：所沢市保健センター

参加者：79 名

内 容：

①製品紹介

「ADCT の撮影技術と最新情報」

東芝メディカルシステムズ（株）関東支社 CT 担当
森山 和樹

②一般研究発表

「shoulder coil に付属する sim device の有用
性について」

石心会狭山病院 小谷野 裕也

「SYNAPSE 整形外科計測ソフトウェア OP-A
について」

富士フイルムメディカル株式会社 MS 販売促進部
宮野 武晴

「AIDR 3D の特徴と特性」

東芝メディカルシステムズ（株）関東支社 CT 担当
森山 和樹

③「乳腺関連の総合画像診断」

講師：イーストメディカルクリニック 石栗 一男

（4）第 1 回支部合同勉強会

～ Collaboration Summit 2012 ～

開催日時：平成 24 年 9 月 9 日（日）13：30 ～ 17：00

場 所：大宮法科大学院大学 2 階講堂

参 加 者：123 名

（5）第 4 回勉強会

日 時：平成 24 年 9 月 20 日（木）18：30 ～

場 所：所沢市保健センター

参加人数：80 名

内 容：

①製品紹介

「整形外科領域におけるトモシンセシスの有用性」

司会：埼玉社会保険病院 八木沢英樹

演者：（株）島津製作所 医用機器事業部

マーケティング部 プリケーション G 葛西 章

②「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1）一般撮影

座長：埼玉社会保険病院 八木沢英樹

講師：防衛医科大学校病院 小池 正行

2）CT

座長：上尾中央総合病院 佐々木庸浩

講師：済生会川口総合病院 城處 洋輔

3）MRI

座長：獨協医科大学越谷病院 宿谷 俊郎

講師：防衛医科大学校病院 吉原 信幸

上尾中央総合病院 矢島 慧介

（6）第 5 回勉強会

日 時：平成 24 年 10 月 18 日（木）18：30 ～

場 所：所沢市保健センター

参加者：51 名

内 容：

①製品紹介

「世界初フルデジタル

MRI・フィリップス Ingenia のご紹介」

（株）フィリップス エレクトロニクスジャパン
マーケティング本部 松本 淳也

②一般研究発表

「乳癌診療におけるチーム医療の実践例」

防衛医科大学校病院 近藤 忠晴

「ガス発生曲線を用いた発泡剤溶解特性の検討」

石心会狭山病院 佐藤 秋生

「1.5T と 3.0T の使い分け」

防衛医科大学校病院 吉原 信幸

③「CT 物理特性について」

座長：柴 俊幸（所沢ハートセンター）

講師：メディカルスキャニング大宮 小澤 昌則

（7）第 6 回勉強会

日 時：平成 24 年 11 月 15 日（木）18：30 ～

場 所：所沢市保健センター

参加人数：51 名

内 容：

①メーカー講演

「胃 X 線検査のリスク管理について」

伏見製薬株式会社 杉本 謙司

②技師講演

座長：今出 克利（さいたま市民医療センター）

「全領域の胃粘膜を二重造影で撮影するにはど

うする」 パークタウンクリニック 矢幅 俊一

③特別講演

座長：千田 俊秀（所沢市市民医療センター）
「胃癌の X 線診断～読影の補助にむけて～」
慶應義塾大学病院 予防医療センター
吉田 諭史

（８）第二支部第三支部合同勉強会開催

開催日時：平成 24 年 12 月 1 日（土）14:00～17:45
場 所：埼玉医科大学川越クリニック 6 階 大
会議室

参 加：83 名

（９）第 7 回勉強会

日 時：平成 25 年 2 月 7 日（木）18:30～
場 所：所沢市保健センター

参加者：58 名

内 容：

①製品紹介

「CT コロノグラフィ
専用炭酸ガス送気装置プロト CO 2 L について」
エーディア株式会社 千葉埼玉エリア
松村 久

②学術セッション「遠隔画像診断について」

座長：田中 達也（小川赤十字病院）
「遠隔画像診断サービスの現状と将来」
株式会社ドクターネット サービス部サービス課
土井 誠
「ドクターネット社遠隔読影サービスの使用経験」
遠山脳神経外科 西田 大志

③特別講演

座長：吉村 公一（川越胃腸病院）
「検診における CTC ～検診施設からの報告～」
榊原サピアワーククリニック 伊山 篤

第三支部

地区理事 庭田 清隆
役 員 野田 健一 安江 章則 後藤 正樹
梅澤 達也 鈴木 英之
会計幹事 杉村 和紀
会計監査 今井 昇

（１）第 1 回 第三支部勉強会開催

開催日時：平成 24 年 6 月 21 日（木）
19:00～21:00
場 所：埼玉医科大学総合医療センター 5 階

小講堂

埼玉県川越市鴨田辻道町 1981

内 容：最新デジタルマンモグラフィ装置について
（メーカー講演 6 社）

- ・シーメンス・ジャパン株式会社
- ・GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
- ・東芝メディカルシステムズ株式会社
- ・株式会社日立メディコ
（マンモビューワデモ開催 2 社）
- ・株式会社イメージ・ワン
- ・株式会社東陽テクニカ

最新デジタルマンモグラフィ装置について
講師：埼玉医科大学総合医療センター

中央放射線部 杉村 瞳

参 加：42 名

（２）第 1 回 第三支部役員会開催

開催日時：平成 24 年 6 月 21 日（木）
21:00～21:20

場 所：埼玉医科大学総合医療センター 5 階
ゼミ 1
埼玉県川越市鴨田辻道町 1981

内 容：合同勉強会意見調整、納涼会
川越市健康まつり実行委員について

出 席：7 名

（３）第 26 回 川越市健康まつり 第 1 回実行委員会出席

開催日時：平成 24 年 7 月 12 日（木）
13:40～15:00

場 所：川越市総合保健センター 1 階 研修室

出 席：第三支部理事 庭田 清隆

内 容：実施要項、テーマについて、催し物、
PR、補助について 他

（４）第三支部納涼会開催

開催日時：平成 24 年 7 月 28 日（土）
19:30～21:30

場 所：手作り居酒屋 甘太郎 川越店
埼玉県川越市脇田町 9-3 三経 71 ビル
2F

参 加：33 名

（５）リレー・フォー・ライフ川越 2012 リーダーズ ミーティング出席

開催日時：平成 24 年 8 月 18 日（土）
18:00～19:30

場 所：川越市市民会館 会議室
 内 容：リレー・フォー・ライフ川越 2012 概要
 説明、テント設営場所について 他
 出 席：2 名
 (公益理事 星野 弘、第三支部理事 庭田 清隆)
 (6) リレー・フォー・ライフ川越 2012 参加(イベント開催)
 開催日時：平成 24 年 9 月 15 日(土) 13:00～
 平成 24 年 9 月 16 日(日) 13:00
 場 所：川越市水上公園
 内 容：・乳がん検診説明会
 講師：埼玉医科大学総合医療センター
 中央放射線部 石田 直之
 ・CT コロノグラフィ説明会
 講師：埼玉医科大学総合医療センター
 中央放射線部 清水 隆広
 ・東日本大震災 被災写真展示 他
 参 加：51 名(第三支部会員 40 名を含む)
 (7) 第 26 回川越市健康まつり 第 2 回実行委員会
 出席
 開催日時：平成 24 年 9 月 20 日(木)
 13:30～15:00
 場 所：川越市総合保健センター 1 階 研修室
 出 席：第三支部理事 庭田 清隆
 内 容：実施要項、テーマについて、
 催し物会場・休憩場所の確認 他
 (8) 平成 24 年度第三支部ボウリング大会開催
 開催日時：平成 24 年 10 月 25 日(木)
 19:00～21:00
 場 所：川越ボウリング場
 内 容：親睦を深めるとともに日頃の運動不足
 解消、ストレスを発散
 参 加：44 名
 (9) 第 26 回川越市健康まつり前日準備
 開催日時：平成 24 年 11 月 3 日(土)
 13:00～17:00
 場 所：川越市総合保健センター 2 階
 乳房及び胸部 X 線室、胃部 X 線室
 内 容：あなたのための医療画像展コーナー設
 営、骨密度測定会場準備
 参 加：4 名
 (10) 第 26 回川越市健康まつり
 あなたのための医療画像展開催(骨密度測定)
 開催日時：平成 24 年 11 月 4 日(日)

8:30～15:30
 場 所：川越市総合保健センター 2 階
 乳房及び胸部 X 線室、胃部 X 線室
 回 覧 者：513 人(川越市健康まつり総来場者数
 3,237 人 昨年比 417 人減)
 骨密度測定：50 人
 実行委員：10 名(協力メーカー 2 名を含む)
 (11) 第 2 回 第三支部勉強会開催
 開催日時：平成 24 年 11 月 20 日(火)
 19:30～21:00
 場 所：埼玉医科大学国際医療センター C 棟
 2 階会議室
 内 容：当院における乳がん患者の検査から手
 術まで
 講師：埼玉医科大学国際医療センター
 森田 政則
 講師：埼玉医科大学国際医療センター
 山口 春果
 参 加：41 名
 (12) 第 2 回 第三支部役員会開催
 開催日時：平成 24 年 11 月 20 日(火)
 21:00～21:30
 場 所：埼玉医科大学国際医療センター C 棟
 2 階会議室
 内 容：第二支部第三支部合同勉強会、
 懇親会について 他
 参 加：7 名
 (13) 第 26 回川越市健康まつり 第 3 回実行委員会
 出席
 開催日時：平成 24 年 11 月 26 日(月)
 13:30～15:30
 場 所：川越市総合保健センター 3 階研修室
 内 容：第 26 回川越市健康まつり事業報告、
 実施状況報告、アンケート結果 他
 審議事項：第 27 回川越市健康まつり開催日について
 出 席：第三支部理事 庭田 清隆
 (14) 第二支部第三支部合同勉強会開催
 開催日時：平成 24 年 12 月 1 日(土)
 14:00～17:45
 場 所：埼玉医科大学川越クリニック 6 階
 大会議室
 内 容：・HOW TO 急性腹症@当直中
 講師：石心会狭山病院放射線科

伊藤 寿哉

講師：防衛医科大学校病院放射線部

征矢 強

講師：埼玉医科大学病院中央放射線部

佐々木 剛

講師：埼玉医科大学総合医療センター

中央放射線部 細井 慎介

講師：埼玉医科大学総合医療センター

放射線科 長田 久人 氏

参 加：83 名

(15) 第二支部第三支部懇親会開催

開催日時：平成 24 年 12 月 1 日（土）

18：30～20：30

場 所：ラ・ボア・ラクテ川越 2 階 オリオン

内 容：第二支部第三支部親睦を深める

参 加：32 名

(16) 平成 23 年度第三支部新年会開催

開催日時：平成 25 年 1 月 5 日（土）

19：00～21：00

場 所：海峡 川越西口店

内 容：支部会員との交流を深めるとともに、
新年の抱負、意気込みを知る

参 加：33 名

(17) 臨時 第三支部役員会開催

開催日時：平成 25 年 1 月 5 日（土）

場 所：海峡 川越西口店

内 容：平成 25 年度支部役員について、
予算総会（開場・開始時間等）

参 加：7 名

(18) 第 3 回 第三支部勉強会開催

開催日時：平成 25 年 3 月 21 日（木）

19：00～20：00

場 所：埼玉医科大学病院 第 4 講堂
（本部棟 地下 1 階）

内 容：・フラットパネルの使用経験

講師：埼玉医科大学病院 渡辺 嵩広
・デュアルエナジー

講師：埼玉医科大学病院 戸矢 雅人

参 加：37 名

(19) 平成 24 年度 第三支部・地区 定期総会開催

開催日時：平成 25 年 3 月 21 日（木）

20：00～20：30

場 所：埼玉医科大学病院 第 4 講堂

（本部棟 地下 1 階）

- 内 容：1. 審議 H24-1：平成 24 年度事業報告…可決
2. 審議 H24-2：平成 24 年度会計決算事業報告…可決
3. 審議 H24-3：平成 25 年度第三支部・地区事業計画案について…可決
4. 審議 H24-4：平成 25 年度予算案について…可決

出 席：14 名

（委任状提出 148 名：議長一任 147 名、他一任 1 名）

本総会出席 14 名と委任状数 148 名、合計が 162 名となり第三支部会員数 224 名の過半数を超えており、
埼放技三地区会会則第 9 条により本総会は成立

(20) 第 3 回 第三支部役員会開催

開催日時：平成 25 年 3 月 21 日（木）

20：30～21：00

場 所：埼玉医科大学病院 第 4 講堂
（本部棟 地下 1 階）

内 容：平成 25 年度事業計画担当振り分け ほか

参 加：9 名

第四支部

会 長（地区理事）山田 伸司

副会長 関根 茂夫

会 計 山崎 由紀敏

地域担当 齊藤 幸夫 小林 茂幸
萩原 貴之 清水 浩和
大野 渉

監 事 長谷川英治 白石 雄一

(1) 第 1 回 支部役員会

開催日時：平成 24 年 4 月 5 日（木）18：30～

場 所：深谷赤十字病院

参 加 者：8 名

(2) 小柳洋二先生 公衆衛生事業功労賞受賞祝賀会

開催日時：平成 24 年 4 月 27 日（金）19：00～

場 所：秩父市ナチュラルファームシティ農園ホテル

参 加 者：69 名

(3) 第 1 回 支部勉強会

開催日時：平成 24 年 5 月 17 日（木）

18：30～20：30

場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第 1
会議室

- 内 容：「CT コロノグラフィ専用炭酸ガス送気
装プロトCO2Lについて」
講 師：エーディア（株）営業本部企画室
平松 義規 氏
- 内 容：「2012 年度診療報酬改定の意味」
講 師：東芝メディカルシステムズ株式会社
富永 博文 氏
- 参 加 者：55 名
- (4) 第 2 回 支部役員会
開催日時：平成 24 年 5 月 17 日（木）20：30～
場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第 1
会議室
参 加 者：10 名
- (5) 医療画像展（秩父会場）
開催日時：平成 24 年 6 月 3 日（日）
10：00～14：00
場 所：秩父保健センター
実行委員：19 名
骨密度測定実施者：156 名
腹部エコー実施者：52 名
- (6) 第 3 回 支部役員会
開催日時：平成 24 年 6 月 3 日（日）
14：00～
場 所：秩父保健センター
参 加 者：6 名
- (7) 平成 24 年度 第四支部納涼会
開催日時：平成 24 年 7 月 27 日（金）19：00～
場 所：酒菜工房 禅や
参 加 者：52 名
- (8) 第 2 回 支部勉強会
開催日時：平成 24 年 9 月 27 日（木）
18：30～20：30
場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第 1
会議室
内 容：「非造影アプリケーションの最新動向」
講 師：東芝メディカルシステムズ（株）
MRI 営業部 アプリケーションスペシャリスト
山下 裕市 氏
参 加 者：44 名
- (9) 第 4 回 支部役員会
開催日時：平成 24 年 9 月 27 日（木）
18：30～20：30
場 所：さくらめいと 熊谷文化創造館 第 1

- 会議室
参 加 者：7 名
- (10) 第 3 回 支部勉強会（胸部読影トレーニング）
開催日時：平成 24 年 10 月 12 日（金）
18：30～21：00
場 所：熊谷文化創造館 さくらめいと
内 容：「腎機能と造影検査」
講 師：第一三共株式会社 杉林 博幸 氏
内 容：「胸部単純読影の実際」
講 師：埼玉県立小児医療センター 田中 宏 氏
内 容：「CT 読影の実際」
講 師：済生会川口総合病院 富田 博信 氏
参 加 者：59 名
- (11) 医療画像展（深谷会場）
開催日時：平成 24 年 10 月 28 日（日）
10：00～15：00
場 所：深谷市総合体育館
実行委員：13 名
骨密度測定実施者：200 名
頸部エコー実施者：149 名
- (12) 平成 24 年度 第四支部 忘年会
開催日時：平成 24 年 11 月 30 日（金）
19：00～21：30
場 所：キングアンバサダーホテル熊谷
参 加 者：64 名
- (13) 清水文孝先生 埼玉県公衆衛生功労知事表彰
祝賀会
開催日時：平成 25 年 1 月 25 日（金）
17：00～21：30
場 所：マロードイン熊谷
参 加 者：123 名
- (14) 平成 24 年度 第四支部 監査会
開催日時：平成 25 年 2 月 22 日（金）
18：30～19：30
場 所：熊谷総合病院
参 加 者：8 名
- (15) 第四支部 総会、第 4 回 支部勉強会
開催日時：平成 25 年 3 月 21 日（木）18：30～
場 所：さくらめいと 第 1 会議室
内 容：「世界初フルデジタル MRI のご紹介」
講 師：株式会社フィリップスエレクトロニクス
ジャパン マーケティング本部
モデリティスペシャリスト

松本 淳也 氏

参加者：41名

第五支部

地区理事 矢崎 一郎

地区役員 上田 圭二 金子 初穂
 鈴木 孝 中村 禎二
 中村 正之 町永 努
 矢部 智 西山 史朗
 市橋 勇氣 國吉 渉
 中嶋 幸孝

(1) 支部役員会

開催日：平成24年4月26日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：8名

(2) 支部親睦ゴルフ

開催日：平成24年4月30日(月)

場 所：ハーモニーヒルズゴルフクラブ

参加者：15名

(3) 支部情報交換会

開催日：平成24年5月24日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：23名

内 容：最新 心臓のCT、MRI

協力 シーメンス・ジャパン株式会社

(4) 支部情報交換会

開催日：平成24年6月21日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：14名

内 容：ICTを利用した地域連携

協力 富士フイルムメディカル株式会社

(5) 支部情報交換会

開催日：平成24年7月19日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：23名

内 容：乳房検査における最新の取り組み

協力 GEヘルスケアジャパン株式会社

(6) 支部情報交換会

開催日：平成24年8月23日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：25名

内 容：造影検査について

ア)『造影検査情報管理システム～Certegra～』

協力 日本メドドラット株式会社

イ)『造影検査のリスクマネージメント

～より安全な検査の施行のために～』

協力 バイエル薬品株式会社

(7) 支部情報交換会

開催日：平成24年9月20日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：20名

内 容：『MSCT 導入状況から見る現状と今後の展望』

協力 東芝メディカルシステムズ株式会社

(8) 支部情報交換会

開催日：平成24年10月18日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：18名

内 容：『一般撮影のFPD化と装置の進化について』

協力 島津製作所株式会社

(9) 越谷市民祭り

開催日：平成24年10月21日(日)

場 所：越谷市役所庁舎内

骨密度測定者 550名

(10) 地区情報交換会(懇親会)

開催日：平成24年11月16日(金)

場 所：もつ焼き いしん

参加者：16名

(11) 第五支部親睦ゴルフ大会

開催日：平成24年11月4日(日)

場 所：千葉カントリークラブ越谷パブリックコース

参加者：18名

(12) 支部情報交換会

開催日：平成24年12月20日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：23名

内 容：

ア)『CTC用炭酸ガス自動送気装置を用いた

大腸拡張について』

協力 エーディア株式会社

イ)『CTコロノグラフィにおけるCADの現状』

済生会川口総合病院 城處 洋輔

(13) 支部情報交換

開催日：平成25年1月17日(木)

場 所：春日部市市民活動センター

参加者：10名

内 容：クラウドとは、仮想化とは
協力 株式会社イメージワン

(14) 支部情報交換会

開催日：平成 25 年 2 月 20 日（水）
場 所：春日部市市民活動センター
参加者：17 名
内 容：『MRI 装置のご紹介』
協力 株式会社フィリップスエレクトロ
ニクスジャパン ヘルスケア事業部

(15) 支部情報交換会

開催日：平成 25 年 3 月 21 日（木）
場 所：春日部市市民活動センター
参加者：23 名
内 容：
ア）『超低被ばく型 CT による小児 CT 検査の現状』
協力 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
イ）『小児胸部撮影について』
埼玉県立小児医療センター 横山 寛

第六支部

会 長（支部理事）	石川 直哉
副会長	高嶋 豊
監 事	濱守 誠
学 術	山口 明
	竹内 信行
広 報	小川原佳和
総 務	松田 繁尚
	仙波 亮
会 計	岡田 智子
	松本 明男
	中島 有里

(1) 支部役員会

開催日：平成 24 年 4 月 26 日（木）
場 所：さいたま赤十字病院
参加者：9 名

(2) 平成 24 年度 第六支部第 1 回定期講習会

開催日：平成 24 年 6 月 7 日（木）
場 所：上尾中央総合病院
内 容：
ア. 『もやもや病について』
講 師：指扇病院 安川 鉦平
イ. 『ディズニーから学ぶ患者接遇』
講 師：さいたま赤十字病院
大河原 郁司

ウ. 『胃 X 線検査における胃粘膜萎縮度判定と
胃癌リスク検診（ABC 法）の相関性の検討』
講 師：社会保険大宮総合病院

竹内 信行

参 加 者：49 名

(3) 第六支部会納涼会

開催日：平成 24 年 6 月 28 日（木）
場 所：おだいどこ はなれ
参加者：42 名

(4) 支部役員会

開催日：平成 24 年 8 月 20 日（月）
場 所：さいたま赤十字病院
参加者：9 名

5) 第一支部・第二支部・第六支部合同勉強会

開催日：平成 24 年 9 月 9 日（日）
場 所：大宮法科大学院大学
参加者：123 名

5) 平成 24 年度 第六支部第 2 回定期講習会

開催日時：平成 24 年 11 月 1 日（木）19：00～
場 所：さいたま赤十字病院
内 容：

ア. 『スポーツ整形の現場から（疲労骨折について）』
講 師：西大宮病院 葛岡 智典
イ. 『乳がん症例からみる MMG の基礎的検討』
講 師：丸山記念病院 芦葉 弘志
ウ. 『CT colonography』
講 師：埼玉県立がんセンター

松本 智尋

参 加 者：35 名

(6) 六支部忘年会

開催日時：平成 24 年 11 月 15 日（木）19：00～
場 所：旬菜家 介 大宮店
参 加 者：35 名

(7) 支部役員会

開催日：平成 25 年 1 月 31 日（木）
場 所：さいたま赤十字病院
参加者：8 名

(8) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会

第六支部第 3 回定期講習会
開催日時：平成 25 年 2 月 21 日（木）19：00～
場 所：さいたま赤十字病院
内 容：
ア. 『生命倫理学の基礎』

講 師：上尾中央総合病院 佐々木 健
参 加 者：32 名

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会

ア、乳腺勉強会

講 師：五十嵐隆元 石栗 一男
開催日：平成 25 年 2 月 3 日 (日)
場 所：さいたま赤十字病院
内 容：マンモグラフィの被ばく線量
MMG と US 現状と今後の課題
症例検討

参加者：32 名

イ、画像の向こうの患者を診よう

第 9 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 4 月 19 日 (木)
参加者：21 名
第 10 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 5 月 12 日 (土)
参加者：29 名
第 11 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 6 月 20 日 (水)
参加者：21 名
第 12 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 7 月 11 日 (水)
参加者：19 名
第 13 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 9 月 19 日 (水)
参加者：24 名
第 14 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 10 月 17 日 (水)
参加者：27 名
第 15 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 11 月 13 日 (火)
参加者：16 名
第 16 回 症例検討会
開催日：平成 24 年 12 月 12 日 (水)
参加者：19 名
第 17 回 症例検討会
開催日：平成 25 年 1 月 15 日 (火)
参加者：32 名
第 18 回 症例検討会
開催日：平成 25 年 2 月 12 日 (火)

参加者：24 名

第 19 回 症例検討会

開催日：平成 25 年 3 月 19 日 (火)

参加者：35 名

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア、第 36 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：大森 正司、桜庭 歩、千田 俊秀、
志田 智樹、伊藤 寿哉、腰塚 慎二、
工藤 泰

開催日：平成 24 年 5 月 20 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院 5F 講堂

内 容：消化管検査の読影補助への取り組みにつ
いて、消化管検査のレポート作成と実例、
症例検討会

参加者：34 名

イ、第 37 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：今出 克利、腰塚 慎二、工藤 泰

開催日：平成 24 年 7 月 29 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院 5F 講堂

内 容：胃がん X 線検診技術部門検定試験の対策
講習会、注腸 X 線検査臨床研修について、
症例検討会

参加者：50 名

ウ、第 38 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：馬場 保昌先生、大倉 康男先生、
大森 正司、今出 克利

開催日：平成 25 年 1 月 20 日 (日)

場 所：さいたま赤十字病院 本館 5 階 講堂

内 容：上部消化管精密検査法の紹介 (動画を中
心に)、上部消化管 (読影法)、上部消化
管 (病理と画像)、症例検討会

参加者：35 名

平成 24 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 新入会の承認について審議し、承認した。（議案書番号：理 -1）（承認）
2. フレッシュアップセミナー（第 14 回 SART セミナー）について審議した。開催日平成 24 年 5 月 20 日（日）、参加予定者 45 名（昨年実績 44 名）、昨年同様公益社団法人日本放射線技師会との合同企画であると担当理事より説明があった。採決の結果承認となった。（議案書番号：理 -2）（承認）
3. 第 1 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会（決算）および懇親会開催について審議した。審議内容は①特別講演②総会後、公益社団法人取得祝賀会として懇親会を開催したい旨の 2 つの案件であった。①について 3 名の候補者が上がり、担当理事より講演内容の説明があった。多数決により済生会宇都宮病院北條副病院長（診療放射線技師）に決定した。②について a 参加費全て個人負担、b 公益社団法人取得祝賀会として、会から一部補助する案が出され、多数決により b に決定した。名誉会員には招待状を発送し、参加者を増やす働きかけを会として行っていく事で承認となった。（議案書番号：理 -3）（一部修正後承認）
4. 求人広告掲載についての内部規程制定について審議した。担当理事より内部規程の案が出され、原案通り承認となった。（議案書番号：理 -4）（承認）
5. 読影実践トレーニング（胸部編）について審議した。担当理事より勉強会の趣旨、予算について説明された。会員が参加しやすいように平日開催、参加費は 500 円として承認となった。（議案書番号：理 -5）（一部修正後承認）
6. 第 28 回学術大会開催会場について審議した。会員の利便性や会場の大きさなどを考え、今後、大宮ソニックシティで開催したい旨の説明があった。予算は昨年度の会場より安価であることの説明があり、承認された。（議案書番号：理 -6）（承認）
7. 会誌「埼玉放射線」の投稿規程改定について審議した。担当理事より投稿規程修正案が出され、原案通り承認となった。（議案書番号：理 -7）（承認）
8. 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会取得に伴い新たな封筒作成について審議した。封筒デザインは編集情報委員会に一任、色は封筒を送付したとき、目立つ方がよいという理由により現行の緑からピンクに変更することで承認した。（議案書番号：理 -8）（承認）
9. リレー・フォー・ライフ川越への参加について審議した。例年通りの内容で承認となった。（議案書番号：理 -9）（承認）
10. 秩父市保健センターまつりの医療画像展参加に関し審議した。例年通りの内容で承認となった。（議案書番号：理 -10）（承認）
11. 公益社団法人への移行に伴い、会の名称変更が生じたため、印鑑等の新規作成について審議し、承認した。（議案書番号：理 -11）（承認）
12. 平成 23 年度事業報告案について審議し、承認した。（議案書番号：理 -12）（承認）
13. 会旗の作成について審議し、承認した。（議案書番号：理 -13）（承認）
14. 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会内部規定の変更について審議した。審議内容は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 新諸規程と抵触する内部規定の改定および削除について担当理事より説明があった。公益社団法人取得時に旧法人内部規定は消滅することから、新内部規定として次回理事会にて、再提出することとし継続審議となった。（議案書番号：理 -14）（継続審議）
15. 平成 23 年度決算書について審議した。審議内容は（①貸借対照表②正味財産増減計算書③財務諸表に対する注記④附属明細書⑤財産目録⑥収支計算書⑦収支計算書に対する注記）について担当理事より財務諸表をもとに説明があった。理事より総会時はスライドで示し、昨年度との対比や赤字幅などを説明するとわかりやすいとの意見があった。担当理事もその方向でスライド作成をすることとし、承認となった。（議案書番号：理 -15）（承認）
16. 定款第 25 条に規定する、総会において定める役員（理事および監事）の報酬などの年間総額（上限）を理事会決定し、総会で承認を受けなければならない。

- 「理事の報酬の上限額を90万円とし、監事の報酬の上限額を15万円とする。」このことを総会においてその他の議案として上程したい旨が副会長より説明があった。承認となった。(議案書番号：理-16) (承認)
17. 新入会について審議した。東京都在住および勤務の方が1名いたが、現定款では居住地及び勤務先所在地の制限がないこと、小川会長から東京都の会長に承諾を得て、全て埼玉の会員として承認した。(議案書番号：理-17) (承認)
18. ソフトボール大会の開催について審議した。審議内容は、最低開催チーム数、日程、予算などについて担当理事より説明があった。昨年は最低開催チームは9チームとしたが、今年度は6チームとした。また、参加者およびご家族の安全面を考え、4面全てを貸し切ることにした。一部行事が重なっているとの意見もあったが、原案のまま進める方向で承認となった。(議案書番号：理-18) (承認)
- 18-2. 平成24年度役員研修会について審議した。審議内容は、日程、内容、予算など担当理事より説明があった。承認となった。(議案書番号：理-18-2) (承認)
19. 第4回CT認定講習会開催に関して審議し、承認となった。(議案書番号：理-19) (承認)
20. 平成24年度MRI基礎講習会開催に関して審議し、承認となった。(議案書番号：理-20) (承認)
21. 第4回救急セミナー開催に関して審議した。審議内容は、日程、内容、予算など担当理事より説明があった。講習で使用する人形について質問があった。また予算について質問があった。今後の継続事業する方向で承認となった。(議案書番号：理-21) (承認)
22. 第11回胸部認定講習会開催に関して審議し、承認となった。(議案書番号：理-22) (承認)
23. 「岐阜県大垣市民病院の高田 賢氏に「一次読影について」埼玉放射線冊子への投稿を依頼したい。」このことについて担当理事より説明があった。『平成24年1月に愛知で行われたPrius Seminarにて発表された内容「厚生労働省医政局長通達の「読影の補助」が出されて2年が経つ。大垣市民病院では、既に診療放射線技師が一次読影を行っており、それに対応する為の教育や自己学習、そして年代ごとの心境の変化などについて埼玉の診療放射線技師に紹介したい。』執筆だけでなく、講演もおこなってもらいたいとの意見があった。講演に関しては、別途議案書を作成する方向で、執筆に関しては承認となった。(議案書番号：理-23) (承認)
24. 平成24年度第12回上部消化管検査認定講習会の開催について審議し、承認となった。(議案書番号：理-24) (承認)
25. 乳腺セミナー開催に関して審議し、承認となった。(議案書番号：理-25) (承認)
26. 平成25年度埼玉放射線学術大会 第28回開催場所を大宮ソニックにて開催したい。このことについて担当理事より詳細な説明があった。準備を進めるに当たって、大会長、実行委員長の任命する意見が出た。それぞれ決定し、承認となった。(議案書番号：理-26) (承認)
27. 「リレー・フォー・ライフ川越」イベント開催に関する予算案について審議し、承認となった。(議案書番号：理-27) (承認)
28. 第26回川越市健康まつりにおける「あなたのための医療画像展」の開催に際し、その予算案、委嘱状交付、及び展示パネル・のぼり・骨密度測定器の貸し出しについて審議し、承認となった。(議案書番号：理-28) (承認)
29. 内部規程（以下内規）の新規制定について審議した。担当理事より「旧社団法人の時の内規は新公益社団法人埼玉県診療放射線技師会になったと同時に消滅したので、改めて内規を制定したい」として内規の内容を含め説明があった。制定日について質問があった。内規は理事会承認日との担当理事が回答し承認となった。(議案書番号：理-29) (承認)
30. 「浦和区健康まつり」参加に際し、予算案の承認および展示パネル、のぼり、骨密度装置の貸し出しについて審議し、承認となった。(議案書番号：理-30) (承認)
31. 本会名称の変更に伴い、のぼり旗を新しく作成する事について審議した。4色の候補があり、多数決の結果紺色で、承認となった。(議案書番号：理-31) (承認)

32. 他県在住および勤務の入会希望者に対する対応について審議した。現法人の定款では、入会資格に住居地および勤務先地に関する制約はない。しかし、入会希望者の意志を尊重しながらも都道府県技師会間の誤解をさける為、入会手続きに際しては関係都道府県技師会の了解を得る必要があり、書式を作成した。これらの手続きに関して審議し、承認した。
(議案書番号：理-32) (承認) (字句訂正後承認)
33. 学術などのセミナー申し込みの Web 化に関して審議した。これまで申し込みを FAX、Web と 2 通りの申し込み方法で運用してきたが、事務処理が煩雑となり返信 FAX の誤送信などがあったこと、そして、会員の利便性などを考え、今後は Web サイトからのみに統一することを審議し、承認した。(議案書番号：理-33) (承認)
34. 日本放射線技術学会関東部会合同学術セミナー開催について審議した。両団体の交流および活性化を図るために合同開催は継続、発展させる必要があり、内容は読影セミナー (MMG、消化管、CT) とする。これらについて審議し、承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
35. 今年度 学術大会テーマ『業務拡大の希望と責務』について審議した。出席理事からは「希望」ではなく「期待」にしてはどうかという意見があった。審議の結果『業務拡大の期待と責務』に変更し承認となった。(議案書番号：理-35) (一部修正後承認)
36. 『埼玉放射線学術大会』の学術大会名について審議した。案として 1. 『埼玉放射線学術大会』(変更なし) 2. 『埼玉診療放射線学術大会』 3. 『埼玉診療放射線技師学術大会』(日放技と名称を合わせる) の 3 つが提案された。公益社団法人日本診療放射線技師会主催の学術大会では、「診療」を入れ、日本診療放射線技師学術大会としたとの追加説明が担当理事よりあった。出席理事から学術大会の名称は今後使用していく名称であり、重要案件の一つなので、年度途中で変えるのではなく、事業計画にて提出し承認されることが望ましいとの意見があり、議長は裁決をとった。採決の結果、一度差し戻しとし平成 25 年度に向けて検討課題となった。
(議案書番号：理-36) (差し戻し)
37. 新入会の承認について審議し、承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 平成 24 年度新春の集い実行委員会立ち上げについて審議した。開催日時は平成 25 年 1 月 11 日 (金)、会場は大宮サンパレス、実行委員長は芦葉常務理事にしたい旨の説明が担当理事よりあった。これらについて審議し、承認となった。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 電光看板の変更について審議した。公益社団法人埼玉県診療放射線技師会への名称変更に伴い、電光看板の変更をお願いしたい旨の説明があった。電光看板および玄関はセンターを削除し「公益社団法人埼玉県診療放射線技師会」とすることで承認された。また今後、「技師会センター」という呼び名を「技師会事務所」と統一することで確認した。(議案書番号：理-39) (字句訂正後承認)
40. 彩の国いきいきフェスティバルの参加について審議し、承認となった。
(議案書番号：理-40) (承認)
41. 深谷市福祉健康まつりに参加し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置、展示パネル、のぼりの貸し出しについて審議し承認となった。(議案書番号：理-41) (承認)
42. 第 38 回越谷市民祭りに参加し、開催予定の医療画像展における予算案の承認および展示パネル、骨密度測定装置の貸し出しについて審議し、承認となった。(議案書番号：理-42) (承認)
43. 特別委員会 (学術大会における読影コーナー準備委員会) 設置の承認について審議した。関東甲信越診療放射線技師学術大会にて、(株) ドクターネットの協力を得てフィルムリーディングコーナーを本会が担当することになった。この大会および来年 3 月の埼玉診療放射線技師学術大会に向けての準備や、システム構築のため、名称を「学術大会における読影コーナー準備委員会」とし、特別委員会として承認をいただきたい。平成 25 年 3 月を目途に解散予定の特別委員会としたい。担当理事より説明があった。承認となった。(議案書番号：理-43) (承認)
44. 本会名称入りボールペンの作成について審議した。県民の皆様へのサービス、また、本会新名称のアピールも兼ねて、参加イベント来場者配布用の名入りボールペンを作成したい。と担当理事より説明があった。予

算について財務への確認があった。担当理事より回答があった。承認となった。(議案書番号：理-44) (承認)

45. ソフトボール大会中止について審議した。諸事情により、石油健保組合グラウンドが本年10月をもって閉鎖となった。その他の候補地を多数当たったが、条件を満たしたグラウンドは確保できなかった。レクリエーション事業は必要と考えているが、ソフトボールを今後続けるのか、また違う形で継続するかは来年度事業計画で議論していきたいと考えている旨の説明があった。今年度のソフトボール大会については中止ということで承認となった。(議案書番号：理-45) (承認)
46. 公益社団法人埼玉県看護協会からの後援依頼について審議した。「第6回埼玉医療安全大会」の後援依頼について。副会長より説明があった。承認となった。(議案書番号：理-46) (承認)
47. 「新入会の承認」について審議し、承認した。(議案書番号：理-47) (承認)
48. 支部学術委員制度の提案(案)に関して審議した。活動内容は、「本会学術と支部との連絡調整役となり本会の学術および支部勉強会の活性化。
 - ・若手の技師会会員を増やし、将来の技師会の人材を育成する。
 - ・本会学術大会の活性化。
 - ・本会学術主催セミナーの活性化。
 - ・本会学術との連携による地区勉強会の活性化および人材発掘。
 との説明が担当理事よりあった。その後、支部理事から様々な意見が出され、継続審議となった。(議案書番号：理-48) (継続審議)
49. 所沢市健康まつりに「あなたのための放射線展」を開催することについて審議し、承認となった。(議案書番号：理-49) (承認)
50. 会員証を新入会員への新規発行について審議した。公益法人取得に伴い、本会名称変更後、新入会員への会員証新規発行は見送っている。選択肢として、1. 平成24年度新入会員に対し、旧法人名で会員証を発行する、2. 新入会員のみ新法人名で会員証を発行する、3. 新法人名の会員証を全会員に来年度発行する。この場合、平成24年度新入会員の会員証もこの時同時に発行する。

審議の結果、3が承認された。ただし、平成24年度入会者には、カード発行が来年度になる旨のお知らせをすることにした。(議案書番号：理-50) (一部修正後承認)
51. 埼玉乳がん臨床研究グループ主催「第12回乳がん市民フォーラム in さいたま」の後援依頼があった。審議し、承認となった。(議案書番号：理-51) (承認)
52. 平成24年度マネージメントセミナー Freed セミナー(ミドルクラスマネージメントセミナー)の開催について審議した。担当理事より以下の説明があった。20代後半～30代前半の世代は、10年先を担う極めて重要な世代である。しかし、環境によっては意識が低下していく時期でもある。そして、他施設の同世代の技師同士で意見交換する事で、自分自身を見直し、技術だけではなく、人間性の育成を目的としたセミナーにしたい。このような形式のセミナーは他の地域でも同様の試みがされていて参加型のマネージメントセミナーとして効果が期待できるという意見もあり、承認となった。(議案書番号：理-52) (承認)
53. 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会からの後援依頼について審議し、承認となった。(議案書番号：理-53) (承認)
54. 埼玉県医師会から各がんセミナーの後援依頼について審議し、承認した。(議案書番号：理-54) (承認)
55. 第28回埼玉放射線学術大会中の県民公開講座および医療画像展の開催について審議した。講演名「頸動脈エコーで何がわかるの？」

以上につき審議の結果承認となった。(議案書番号：理-55) (承認)
56. 理事の職務権限規程の制定について審議した。主務官庁より、支出においては金額によって決裁権者を決めた方がよいという意見があり、新規規程を既存の諸規程に加えることにつき審議し、承認した。(議案書番号：理-56) (承認)

57. 会員の登録等に関する規程の改訂について審議した。賛助会員になるためには定款や諸規程に賛助会員の権利に関する記述が必要な会社もあり、本規程を改訂することにつき審議し、承認した。(議案書番号：理-57) (承認)
58. 新入会員の承認について審議し、承認となった。(議案書番号：理-58) (承認)
59. 平成24年度第2回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会について審議した。開催日は平成25年5月25日(土)会場は埼玉会館で承認した。(議案書番号：理-59) (承認)
60. 埼玉放射線学術大会の学術大会名について審議した。案として1. 埼玉放射線学術大会、2. 埼玉県診療放射線技師学術大会、3. 埼玉診療放射線技師学術大会の3案が提出された。採決の結果、2案が採決され、平成25年度より本学術大会名を使用する。(議案書番号：理-60)
61. 会誌「埼玉放射線」の平成25年の印刷会社選定について審議した。印刷会社2社より見積もりを取り、価格などを検討した結果、望月印刷株式会社で承認された。(議案書番号：理-61) (承認)
62. 会員からの寄付金の用途について審議した。技師会事務所1階の書庫などが不足しており、書庫購入について審議し、承認した。購入した書庫には、寄贈した会員の氏名を入れることで一致した。(議案書番号：理-62) (承認)
63. 講師謝礼規程について審議した。震災復興税導入により、平成25年1月1日より所得税の源泉が10%から10.21%に変更するため、役員等への講師および原稿執筆謝金の支払に関する規程第1条につき変更した。これを審議し、承認した。ただし、講師謝礼に関する規程第2条については今会議案として提出されていないため、今後の理事会にて提出することになった。(議案書番号：理-63) (承認)
64. 新会計規程について審議した。非常に複雑な案件であり、継続審議する事となった。(議案書番号：理-64) (継続審議)
65. 平成24年度埼玉放射線学術大会より学術大会研究発表者への表彰の提案が担当者よりあった。座長推薦賞および優秀賞とし、審査基準に関する内部規定の提出があった。表彰規程ではなく内部規定で対応することから、学術大会終了後閉会式にて表彰可能という説明があった。学生発表に対しては表彰の対象とするが非会員であることから副賞はなしということで、一部修正後承認となった。(議案書番号：理-65) (承認)
66. 学術大会研究発表者への表彰規定の提案について審議した。学術奨励賞および新人賞とし、表彰委員会から推薦し、理事会決議にて総会で表彰する旨の説明があった。学術功労賞については論文1編以上、新人賞については概ね30歳までに発表実績が3大会以上という提案であった。以上、表彰規定を変更することについて承認した。(議案書番号：理-66) (承認)
67. 新入会員の承認について審議し、承認となった。(議案書番号：理-67) (承認)
68. 定款第10条1項(会員の資格喪失)の規程に従い、会費2年以上の滞納者へ、会費納入のお願いと会員継続意思確認を行う文章の送付について審議し、承認となった。(議案書番号：理-68) (承認)
69. 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会の情報交換会について審議した。一部修正後承認となった。(議案書番号：理-69) (承認)
70. 全日本病院学会からの名義後援依頼について承認した。(議案書番号：理-70) (承認)
71. 本年度までは、本会は単独で会員へ会費請求を行ってきたが、日本診療放射線技師会(以下日放技)より平成25年度より都道府県技師会費との合算請求協力の通知があった。本会が日放技に会費請求を委託するにあたり、いままで本会で負担していた請求にかかる諸経費および事務手続きを一部削減できる利点があり、承認となった。日放技から会員に請求書が送付される前に、本会からはがきをもって通知することとした。(議案書番号：理-71) (承認)
72. 平成25年度事業計画案として、会長より説明があった。一部の表現方法を変更し承認された。(議案書番号：理-72) (承認)
73. 平成25年度予算案について審議し、承認された。(議案書番号：理-73) (承認)

平成 24 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会ホームページ更新履歴

(1) 診療放射線技師の方へ 掲載および更新

- ・平成 23 年度 埼玉県放射線技師会第六地区会
定期総会及び平成 23 年度 第 3 回定期講習会
の日程の訂正
- ・第 3 回第一地区勉強会
- ・第五地区勉強会の案内
- ・Ai 認定技師の認定申請について（日放技から）
- ・第 1 回第二地区勉強会
- ・循環器画像技術研究会 第 283 回定例会
- ・第五地区親睦ゴルフコンペの案内
- ・速報：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会認
められる
- ・HP 名称変更：公益社団法人埼玉県診療放射線
技師会
- ・第 3 回第三地区勉強会・定時総会
- ・平成 24 年度関東甲信越放射線技師学術大会の
お知らせ・演題募集のお知らせ
- ・埼玉県放射線技師会永年勤続者表彰について
- ・第 3 回 SAITAMA Cone Beam CT Technical
Meeting
- ・埼玉県放射線技師会永年勤続者表
- ・第 1 回第一地区勉強会
- ・第 36 回埼玉消化管撮影研究
- ・第 14 回 SART セミナー
- ・第 2 回第二地区勉強会
- ・第 3 回第二地区勉強会
- ・第 6 回 SAITAMA MRI Conference 特別講演会
- ・第四地区勉強会
- ・読影実践トレーニング（胸部編）
- ・第 1 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総
会のお知らせ
- ・会員登録情報変更届票（転居届け）←名称変更
にともない修正
- ・SART セミナー
- ・第 15 回 CT 関連情報研究会
- ・東京・埼玉 CT 合同学術集会
- ・バックナンバー 2011 年 219 号
- ・第五支部 情報交換会
- ・東京・埼玉 CT 合同学術集会
- ・2012 年 3 号 巻頭言
- ・第六支部 第 1 回定期講習会
- ・第 1 回 第三支部勉強会
- ・第五支部 情報交換会
- ・平成 23 年度財務諸表
- ・平成 23 年度監査報告書
- ・平成 23 年度事業報告（案）
- ・リレー・フォー・ライフ川越 2012 ボランティ
ア募集のお知らせ
- ・平成 24 年度 第四地区納涼会
- ・循環器画像技術研究会 第 286 回定例会
- ・第 37 回 埼玉消化管撮影研究会
- ・平成 24 年度 MRI 合同学術講演会
- ・平成 24 年度 第 4 回 CT 認定講習会
- ・埼玉県診療放射線技師会・埼玉 CT
Technology Seminar 合同企画「学会発表―演
者席に立つまでの道のり―」
- ・第 4.5 回埼玉 CT Technology Seminar
- ・第 2 回、第 3 回 読影実践トレーニング（胸部編）
- ・第 18 回埼玉臨床画像研究会
- ・第 6 回 JART-JSRT 公開合同学術セミナー
- ・第 35 回ソフトボール大会
- ・掲示板、study の削除
- ・第五支部情報交換会
- ・バックナンバー 2011 年 220 号
- ・2012 年第 4 号 巻頭言
- ・第 2 回、第 3 回、第 4 回 読影実践トレーニン
グ（胸部編）差し替え
- ・ソフトボール大会中止のご案内
- ・平成 24 年度 深谷市福祉健康まつり
- ・第五支部 情報交換会
- ・第 2 回第一支部勉強会
- ・平成 24 年度 上部消化管検査認定講習会
- ・平成 24 年度 MRI 基礎講習会
- ・平成 24 年度 第 11 回胸部認定講習会
- ・第 28 回 埼玉放射線学術大会の開催および演
題募集について
- ・埼玉県胸部、消化管、CT 認定合格者リスト
- ・第 4.7 回埼玉 CT Technology Seminar
- ・第 288 回定例会 循環器画像研究会
- ・第五支部情報交換会

- ・第 27 回埼玉放射線学術大会の写真
- ・平成 24 年度第 2 回関東部会学術講演会 & SART 読影セミナー
- ・2012 年 227 号 巻頭言
- ・日本診療放射線技師会に入会されていない埼玉県診療放射線技師会会員の皆さま
- ・第五支部親睦ゴルフ
- ・第 5 回 埼玉 CT Technology Seminar
- ・第 5.1 回 埼玉 CT Technology Seminar
- ・川越市健康まつり
- ・第五支部 情報交換会
- ・乳腺勉強会
- ・平成 24 年度 上部消化管検査認定講習会
- ・第四支部忘年会
- ・第 3 回第一支部勉強会
- ・会告 日本診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
- ・越谷市民まつり
- ・新春の集い
- ・第五支部忘年会
- ・第六支部第 2 回定期講習会
- ・平成 24 年度医療安全セミナー（公開）
- ・新春の集い リンク修正
- ・臨床工学会 県民講座
- ・第 29 回 日本診療放射線技師学術大会
- ・平成 25 年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会
- ・平成 24 年度 埼玉県各がん検診センター
- ・第 16 回 CT 関連情報研究会
- ・医療法施行条例の施行について（通知）
- ・リレー・フォー・ライフ川越 2012 に参加しました。
- ・学術データベースの公開
- ・第 19 回 埼玉臨床画像研究会
- ・学術大会、機器展示申し込みフォーム設定
- ・第二・三支部合同勉強会 HOW TO 急性腹症 @当直中
- ・第 2 回関東部会学術講演会 & SRAT 読影セミナー ランチョンセミナー広告掲載
- ・2012.11 月号巻頭言
- ・バックナンバー 2011 年度 221 号
- ・Web 事務所→公益社団法人埼玉県診療放射

- 線技師会に変更
- ・Web 事務所の地図修正
- ・学術大会、機器展示申し込みフォーム設定、修正
- ・第 1 回 Freed セミナー
- ・第 4 回救急セミナー
- ・学術大会演題募集 12/9（日）12 時までに変更
- ・平成 24 年 12 月 6 日サイバーアタックにより学術データベースを一時的に閉鎖
- ・平成 24 年 12 月 7 日サイバーアタックへの対策を行い、学術データベース復旧
- ・第 12 回上部消化管検査認定試験訂正文
- ・第 11 回胸部、第 12 回上部消化管検査、第 4 回 CT 検査認定試験
- ・第五支部 情報交換会
- ・県民公開講座
- ・諸規定更新
- ・バックナンバー 2011 年度 222 号
- ・第 6 回埼玉 CT Technology Seminar
- ・第 7 回 SAITAMA MRI Conference 特別講演会
- ・循環器画像技術研究会 第 291 回定例会
- ・第 7 回 第二支部勉強会および地区総会
- ・乳腺勉強会差し替え
- ・循環器画像技術研究会 第 292 回定例会
- (2) 一般の方 掲載および更新
- ・埼玉放射線バックナンバー掲載 2011 年度 220、221、222 号
- ・一般 Web サイト修正（5 ヲ所）←名称変更にもない修正
- ・平成 24 年度 深谷市福祉健康まつり開催の案内
- ・平成 24 年度川越健康まつり
- ・県民公開講座
- (3) メールマガジン 配信
- ・メールマガジン No.47 ~ No.54
- (4) その他
- ・ファーストサーバのダウンに伴う、埼放技 Web 修正